

令和元年度長崎県食育推進活動表彰 = 受賞者紹介 =

7月23日に授賞式を行いました。この賞は、社会的貢献度が高く、他のモデルとなる実践的な食育活動に取り組んでいる個人及び団体に対する長崎県知事表彰です。



【前列】

左端より

・上田副知事

(個人)

・益子美沙子さん

(団体)

・魚のまち長崎応援女子会

・特定非営利活動法人 大地といのちの会

・新松浦漁業協同組合女性部

・原味噌本店



【後列】 ・同伴者の方々

益子 美沙子さん（長崎市）

「食物アレルギーサポーター」として学校職員、学童指導員、高校生向けの講演会や料理教室の開催、食物アレルギーを持つ児童生徒向けサポートブックの無料配信などの活動を通し、食物アレルギーの知識の普及に努め、食品の安全性などの食に関する情報提供に貢献されています。

魚のまち長崎応援女子会（長崎市）

「魚のまち長崎」の市民・観光客へのアピールや、魚食普及による市民の健康増進を目的に、「だし教室」の開催や「魚さばき教室」での調理指導、魚の離乳食レシピの作成など、水産業界には少なかった女性の目線を活かした活動を通して、「魚のまち長崎」の認知度向上、魚食普及に貢献されています。

特定非営利活動法人 大地といのちの会（佐世保市）

生ごみを活用した無農薬野菜を育てる技術を確立し、これを広めるため、生ごみリサイクルリーダーを県下各地域で育成するなど、地産地消や環境保全活動を通じた食育の推進に貢献されている。

新松浦漁業協同組合女性部（松浦市）

民泊受入れによる魚食文化の紹介や、料理教室の開催による魚食の普及啓発や、地元産「アジフライ」を松浦の特産品として地域全体へ波及させるなど、地元の水産業の活性化に貢献されている。

原味噌本店（波佐見町）

保育園や小学校での「みそ・みそまる作り教室」や男性料理教室、公民館講座での発酵食品の大切さについての講話など、発酵食品の代表である「味噌」作りを通して、和食文化の普及に貢献されている。